

## 令和2年度第1回白井市男女共同参画推進会議

- 1 開催日時 令和2年8月20日（木） 午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 白井市役所本庁舎2階 災害対策室2・3
- 3 出席者 北川慶子会長、市川温子委員、佐藤真弓委員、大野晋次委員、鈴木孝委員、今井幹代委員、塚原幸恵委員、折原圭太委員、中村一治委員、冴瑪悠委員、稲田忍委員
- 4 欠席者 三輪祐子委員、柴沙智江委員、新原幸子委員、中原恵子委員
- 5 事務局 市民環境経済部 岡田部長 市民活動支援課 松岡課長  
市民活動支援係 保科係長、中川主事
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 (1) 白井市男女平等推進行動計画 平成31年度進行管理結果について  
(2) 白井市男女平等推進行動計画 前期実施計画評価について  
(3) 白井市男女平等推進行動計画 後期実施計画について
- 8 議事 白井市附属機関条例第6条の規定により、会長が議長として議事を進行した。

○会長 それでは、時間になりましたので、令和2年度第1回男女共同参画推進会議を始めたいと思います。

皆様こんにちは。本当に皆様方におかれましては、このお忙しい、しかも一番暑いときにこのようにお集まりいただきまして、そして、今後の後半の計画をここで私たちが議論していくことになります。本当に暑い中で、熱い討論ができればありがたいなと思っております。

特に、新型コロナウイルスがパンデミックになって、私たちも本当に大変な思いをずっと、もう半年間いたしておりますけれども、皆様方には、お変わりもなく元気でお過ごしでいらして、本当によろしゅうございました。まだまだこれからどうなるか分かりませんので、本当に気をつけていきたいと思います。

この推進会議は、今日11名の委員の皆様方が御出席でございまして、4名の方は御欠席でございます。ですが、3分の2以上の御出席でございまして、この会議は成立するというところでございますので、よろしく願いいたします。

特に、管轄部も今年度から変わりました、市民環境経済部長のもとに統率していただきまして、そして市民活動支援課長の実働部隊を中心になりまして、さらに後半5年間の活動を積極的にやっていたらという気がお持ちでございまして、私たち委員としては、真摯にここでこれまでの5年間を評価して、そして次に向かうようないい改正案といってもあまり大きくは変わりませんけれども、見直しをしていけたらいいなと思います。

皆様方、今日はどうぞよろしくお願いいたします。

議事に入る前に事務局から何かありましたらお願いいたします。

○事務局 (事務局挨拶・説明等)

○会長 御説明どうもありがとうございました。

それでは、これから議事に入りたいと思います。

今日の議事は三つでございます。

○委員 すみません。公募委員の●●と申します。今日、この三つの議題をいただくということで、これから私どもが、議事を先生の進行のもとに行わせていただくわけなのですが、一つだけ、この議事に入る前に、ただいま事務局の方から御説明のあったことに対して、私、個人的に感想があるのです。そのことについて、議事に入る前に、私の感想ということで申し上げてよろしいでしょうか。

○会長 どうぞ。

○委員 それでは、会長に御了解をいただきましたので、私の思うところを簡単に述べさせていただきます。

今、市役所のお仕事の組織改編という御説明をいただいたわけですね。そして、昨年度は、企画政策課の中に明確に男女共同参画室というポジション、位置づけがなされていたわけですね。

今年度からお仕事の内容を引き継がれるということで、係長、そして●●さんがまた新しくスタートということで、フレッシュな方がお入りになり、本当に白井市も頑張っていच्छるといことは、それはもう異論のないところなのですが、市民活動支援課の活動内容を白井市のホームページ等で拝見させていただきますと、1番から13番までのお仕事の内容があるようなのです。

1番としては、公益的な市民活動の支援に関することから始まりまして、12番目に男女共同参画社会、そして最後の13番目に人権の推進、人権ですから人権問題への取組ですか、と書かれておりまして、本当に多くのお仕事を御担当されていच्छるなと思うところです。

私が単純に思うことは、男女共同参画室という一つの明確な位置づけがありますと、いろいろなことの中で、行政のお仕事の中で、この問題はと思ったとき、例えば私自身は、個人的な用事で住民票が欲しいなと思ったら市民課の窓口に行くという、そういう看板が明確にあるということは、白井市がそういう事柄に対して明確に取り組んでいるなという一つの位置づけ、アピールになるのではないかと思うのです。

お仕事の内容は、前年度に引き続き取り組んでいच्छる、頑張っていच्छるということ、この頂いた資料を見れば分かるのですが、男女共同参画室という看板が消えてしまうというのは、私自身は非常に残念なことである一つの感想として思っております。

そして、私、しつこい性格なものですから、近隣のいろいろな市町村のホームページの組織を拝見してみますと、私が以前勤務していた野田市は、人権への取組が非常に盛んな市でありまして、明確に人権、そして男女共同参画という一つの課が存在しております。

また、隣の印西市も拝見させていただきますと、やはり市民活動推進課という同じ課なのですが、印西市さんにおいては、男女共同参画係という一つの係が位置づけされております。

また、隣の鎌ヶ谷市も、市民活動推進課の中に、やはり同じように男女共同参画室という一つ

の室が明確に位置づけられていますね。

これ以上はくどくなりますけれども、もうお仕事の内容に関しては、これだけの資料を頂いて、ああ、頑張っているんじゃないかなと思っておりまして、また、その内容を見ても、頭が悪いものですからよく分からなかったのですけれども、一つだけ単純に思うことは、その看板がなくなったということは、私は非常に残念だと思うところでございます。それは、私の意見として述べさせていただければと思いました。ありがとうございました。

○会長 どうもありがとうございました。

今年度の第1回でございますし、部長さんもいらっしゃいますので、男女共同参画という看板が消えて見えづらくなったということをとっても残念に思っているという●●委員さんの御意見でございましたので、どうでしょうか、その辺りのところを少し御説明いただいてもよろしいでしょうか。そのほうが委員たちもすっきりすると思いますので、よろしくお願いいたします。

○事務局 それでは、座らせていただいて、簡単に説明をさせていただきたいと思えます。

確かに、●●委員さんがおっしゃるように、これまでの明確な男女共同というところの部分が見えなくなってきているというのは、確かに事実でございます。当市、白井市につきまして、毎年度、毎年なのですけれども、行政組織の見直しというものを行ってございまして、この組織の見直しというのは何でやっているかという、白井市は、今、人口6万3,200人程度の人口でございます。ここに来て人口は少しずつ減少してきている。職員の人数についても、人口が減っているところで職員数が増えるかという、なかなか増えない。このようなことから、組織として効率的に業務に取り組んでいくために、様々な事務、こういったものをいろいろと見直しをしながら、効率よく、ただし手抜きをすることなく事務を進めていこうというような、そのような取組をやっているところでございます。この男女共同参画社会の推進に関することについても同様でございます。

今、●●委員さんがおっしゃっていただいたように、近隣の自治体の取り組んでいる課というのは、やはり市民活動支援課とか、そういったような課が多くなってきているところがありますので、当市においても、この市民活動支援課で、より実践的にこの活動を進めていこうというようなところでの取組でございます。

ですので、名前としては見えないというところではございますが、業務というところに関しては、これまでよりも実践的に進めていきたいと考えているところでございますので、この辺については御理解をいただきたいと思っております。

それから、●●委員さんは先ほど、この市民活動支援課の業務が全部で13あってというお話がありました。この男女共同参画の件と人権の関係については、先ほど言った企画政策課にあったものを市民活動支援課へ持ってきたということで、入れる場所というのがどうしても下のほうになってしまっているということでもございまして、特に仕事の力加減が一番下になっているということでは全くございません。

あとは、職員も、市民活動支援係は人数が増えました。何で増えたかという、この男女共同参画、それから人権、こういった事務を行うために人数も増えているということでございますので、体制としては、これまでと変わらない体制でやっていきたいというようなことでございます。以上でございます。

○会長 ありがとうございます。私どもも、こういう会議の委員でもございますし、これまであったものがなくなるということには多少の抵抗があると思いますが、今、部長のお話を伺って、みんながそれは納得したことだろうと思いますし、●●委員さん、よろしゅうございましょうか。

○委員 はい。

○会長 それと、本来は、男女共同参画という言葉が、究極の目標、ゴールは、なくなることでありますしね。それから、人権もそうなのですよ。当たり前のことなのですけれども、今はまだいろいろな課題があるから今はあるということですので、そういうような一歩先んじて、そして考えていくというようにも拡大解釈もできるかなというような気がいたします。

決して疎かにしていらっしゃるというわけじゃありませんので、組織改革の中では仕方のないこと、しかし、この事業は確実にやっていただく、それは私たちが提言し見守っていくというような役割というようなことで、みんなで力を合わせて考えていきたいと思っております。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、こういうふうにいろいろな疑問ですとか、それからただすようなこと、分からないようなことは、どんどん発言していただきたいと思います。

#### (1) 白井市男女平等推進行動計画 平成31年度進行管理結果について

これから早速議題に入りますけれども、今日は三つの議題でして、まず最初の議題で白井市男女平等推進行動計画平成31年度進行管理結果というものが出ておりますので、これにつきまして、事務局のほうから御説明いただけますでしょうか、お願いいたします。

○事務局 (事務局説明)

○会長 どうもありがとうございます。たくさんの実績がある中でピックアップしてくださって、この4段階の中で特徴的なものを取り上げていただきまして、この中で140項目あるうち127件は予定通り、2件は予定以上の実績を上げた。ですから、9割は目標どおりといいたいでしょうか、進行している。ただし、そうではなかったのが幾つかあって、それを説明していただいたということでございますが、こういったようなことにつきまして、皆様方の中から、御意見ですとか御感想ですとか、あるいは御質問がございましたら、どうぞ挙手でお願いしたいと思います。

●●委員さん、お願いします。

○委員 今、御説明いただいた数値のところ、最後のページのところの一番下のところで、市役所内男性の育児休業取得率で、29、30とゼロだったのだけれども、少しそういう方がいらっしゃったということがあったのですけれども、この数字を見ると、平成28年度は20%とあるじゃないですか。これは、すごく逆に高くなって、何で29年、30年と減ってしまったのかなというところ

に。何で聞くかという、ひょっとしたら、この先に数字を上げるためのヒントが28年度の行動に何かあるのではないかなと思って、お聞きしたいなと思っております。

○会長 誠に的確な御質問だと思いますが、いかがでございますか。事務局で何かお分かりになることはございますか。

○事務局 それでは、過去の経過というものがありますので、私から御説明させていただきます。

男性育児休業の取得率に関しましては、私どもでも、0%が2年続いていたこともあり、総務課の人事担当に、きちんとアナウンスをしてほしいと。取得率が上がってこない、周りがこういうふうに取りれるのだというのを理解できない。女性は、妊娠、出産に関して、見て分かるように体の変化がありますけれども、男性の場合はそれが無いので、本人たちが意識を持ってもらわないとなかなか難しい部分というのがあると、人事にかなりハッパをかけました。

その中で、人事に届出を出してくるタイミングでいろいろガイダンスを行ったりとかはしてくれているのですが、今、●●委員の言われた28年度の実績値が非常に高かったというのは、フルではない時短による育児休業なのではございますけれども、比較的、市役所内で結婚されている方同士だったりとかすると、男性が育児休業を取りやすいというケースが見られていました。なぜかという、お給料にあまり差がないから。これが、奥様のほうが民間企業だったりすると、安定した旦那さんの収入が育児休業を取ることで下がってしまう、世帯年収が大きく下がってしまうケースというのが、中には計算すると、これだけ減っちゃうのかというのを見てしまっ、男性が休業を取らない。大体男性が取っているのが時短なのではございますけれども、そういうケースが多いと聞いています。

男性に、育児休業を取ることを決して広報していないわけではなく、新規採用職員の研修で、男女共同参画について1時間ほどお話をさせていただいているのですが、その中でも、男性もどんどん育児休業を取っていかなくちゃいけないのだよという話は何年も前からさせていただいていますので、多分成果が出てくるのはもうちょっと先になってくるのではないかなと感じているところです。以上です。

○会長 ありがとうございます。なかなかこれは白井市だけで解決することでもなさそうでございますしね。こういうことを分かっていたら、本当は国がやらなくちゃいけないことなのですね。

男女共同参画社会基本法も20年前ですからね。2000年にできて、もう2020年になっているのに、男女の給与格差もまだまだありますしね、幅は狭まったとはいえ。ですから、これは私たちも、白井市だけではなく、ほかのいろいろなところでも発言して行って、本当にその辺の給与の格差等々とか、働き方改革と言いながら、なかなか進まないことに対して、ものを言うような姿勢を持っていかなくちゃいけないなということが、改めてここで顕在化してきたかなと思います。ということしか、しょうがないですね。

○委員 これから成果が出ることを期待しています。

○会長 そうですね。私たちみんなの気持ちを申し上げました。ありがとうございます。

ほかにはいかがでございますでしょうか。

どうぞ。

○委員 ちょっと参考までにお伺いしたいのですけれども、資料2でいきますと、資料2の下から4番目、保育所等の充実がございまして、ここが「△」ということで、その理由としまして、一番下に保育士の不足等によりと書いてあるのですけれども、この保育士の不足に対して、白井市として特に何か取っている方策というか、計画などはあるのでしょうか。参考までにお伺いしたいのですけれども。

○事務局 昨年度から、保育士の方たちの住居手当でしたかね。あと、手当みたいなものを少し割増しするという制度はつくってはいないです。ただ、近隣もみんな同じようなことをやっています。2年ぐらい前から、多分保育士の不足がかなり大きく取り上げられるケースが増えてきている中で、待機児童が増えている、保育所を建てても見る保育士さんがいない。特に0歳や1歳の子たちというのは、1人の保育士が見られる人数が非常に少ないということもあって、人数を確保することが一番大事になっているので、自治体だけでなく、民間施設においても保育士の取り合い合戦みたいなのが出てきて、お給料を上乗せするという制度をつくっているのは、近隣自治体でもかなり多くあると思います。

市独自の制度として、そのようなものをつくってはいるのですけれども、今申しあげましたとおり、近隣も同じような形でやっているので、あとはいかに要望を出していくかというのが、きっと今後の課題になってくるのではないかなと思います。

直接の担当課ではないので、多分私の知り得る範囲でのお答えになってしまうのですけれども、以上のような形になります。

○委員 分かりました。ありがとうございました。

○会長 ありがとうございました。

ほかに。

どうぞ、お願いいたします。

○委員 ちょっと見方が分からないのでお伺いしたいのですが、資料2の2ページの取組番号17番、ドリームチャレンジャー事業の実施、それで評価理由が、29年度をもって事業廃止となったためと書いてありますが、これは事業廃止になっても、この取組の番号というのはずっと残るわけですかね。

○事務局 そうですね。最初の前期実施計画という行動計画を決めたときには一応やると決めていたにもかかわらず、実際にはやらなかったもので、評価としては「×」という状態で、前期実施計画が終了する令和2年度まではこのような評価とし、今回話し合っただく実施計画の見直し、来年度以降の後期実施計画では、事業自体廃止になっているのであれば、計画からはずすといたことをしていきたいと思っています。

○委員 それと、資料1で、私はこれの見方が分からないのですけれども、このナンバー17のドリームチャレンジャー事業の実施のところで、実施年度が、平成31年度のところまで丸がついているのですけれども、これは29年度で事業が廃止になっているわけではないということですか。

○事務局 当初の予定では、31年度まで実施の予定でした。なので、丸がついています。

○委員 では、29年度に事業は廃止になったのですけれども、当初の予定のまま、ここは全部の項目に丸がついているということでもよろしいのですかね。

要するに、実績じゃなくて、当初の計画で31年度までやる予定でいたから、ここは丸がついていて、令和2年は横棒になっているのですけれども、実際は29年度で事業が廃止になっているわけですよね。ここには、実施年度として30年、31年という形で丸がついちゃっているわけですよね。その辺はどうなのかな、見方がちょっと私分らないので、御質問したのですが。

○事務局 今、●●委員がおっしゃっているのは、取組番号のドリームチャレンジャー事業の実施というものの横並びの一番右上のところの実施年度が、28年から31年まで丸がついているというところでもよろしいですよね。

○委員 はい。

○事務局 こちらは、前期実施計画というのをもとに進行管理を行っているのですが、この前期実施計画の中で、31年度まで事業を実施しますよと、そのうちドリームチャレンジャー事業自体が、事業の実施を予定していた期間がここの実施年度という部分にそのまま残っています。当初の計画どおりの実施年度が入っている状態ですね。

評価で、事業を廃止しているけれども、当初はこの期間、本当はやる事業だったというのが分かるように、こちらはそのまま残っているという形になりますね。今でもよろしいですか。

○委員 それであれば結構です。

○会長 ありがとうございます。

ほかにはございませんでしょうか。

また、後で時間がございまして振り返ることができましたら、またそのときにお願いいたします。

## (2) 白井市男女平等推進行動計画 前期実施計画評価について

それでは次に、第2番目の議題で、白井市男女平等推進行動計画前期実施計画評価についてということで、事務局から御説明よろしく願いいたします。

○事務局 (事務局説明)

○会長 どうもありがとうございました。本当にこれだけの数がある中、集計なさるのもとても大変でございましたでしょうし、それから、それについての分析も本当に的確で、また大変だったなというような気がいたします。

今、御説明いただきましたのが4年間分のことでございますけれども、前期実施計画は今年まででございますので、今年のも入れると、また数字が変わってくるかもしれませんが、現在はこれで見えていくということでございます。

皆様方の中で、御質問ですとか御意見とかございましたら、どうぞ挙手でお願いいたします。いかがでございましょうか。

どうぞ、お願いいたします。

○委員 すみません。すごく基本的なことが自分は分かっていないのかなと思って聞くのですけれども、特に例で言うと、今開いている資料3の1ページの項目の取組のところ、教職員への研修、いじめ防止、性的少数者への配慮などについて、教職員に対する研修を実施したと書いてあるのですけれども、これは丸になっていますけれども、実際この研修というのは、何回やったら丸と評価がつくのですか。それとも、1年に1回だけ研修したら、これでオーケー、「○」ということになっちゃうのですか。

○会長 いかがでございましょう。

○事務局 これは多分、資料の1の12ページの部分ですかね。取組番号13番の人権教育・豊かな人間関係づくり実践プログラムの実施ということで、教育支援課のほうを担当して、違うな、これじゃないな。ごめんなさい。これは児童生徒のことですよ。教員のほうですよ。

14ページか、失礼しました。

人数を見ていただくと分かるのですけれども、多分28年度から31年度までの数値が入っているのですけれども、こちらに関しては、あと、こちらの実施した事業のところを見ていただきますと、年間9回実施、参加人数は延べ101人という形で書いてありまして、内容に関してまでは、申し訳ありません、こちらで捉えていないのですが、同様の内容を別の先生方に9回やったのか、別の内容を全体でやっているのかというのはちょっと分からないのですけれども、このような形で研修を実施しているということで進行管理票の報告が上がっています。必ず研修自体は行っているという形にはなりますね。

○委員 ありがとうございます。この研修を受けた人のフィードバックみたいなものは、市には、この研修を受けて、こう変わったよ、こういうのがあったよという事例とか、そういうものというのは、こちら側に戻ってきていたりしますか。

○事務局 私どもには戻ってきていないのですが、担当課が教育支援課になっておりますので、例えば参加者のアンケートを最終的に取りまとめたものとか、そういうフィードバックがあるのかどうかというのは確認して、会議録作成時のときに質問に対しての回答をお送りさせていただく形になりますので、ちょっとお時間を頂いてもよろしいでしょうか。

○委員 はい。ありがとうございます。すみません。以上です。

○会長 ありがとうございます。

いかがでございましょうか、ほかには。

どうぞ。

○委員 評価についてですが、コロナの影響でできなかったというのはやむを得ない事情なので、それを入れてしまうのは何か気の毒のような気がするのですよね。これはどうしようもないことであって、それをマイナス評価するというのは、私は非常に心が痛いというのか、しなくていいのではないかなと思います。

むしろ、例えば前の議題にもあったのですけれども、青少年女性センターの事業ができなかったというもののほうが問題であって、そちらは大きくマイナス評価をすべきであるけれども、コ

ロナによって、事業計画はきちんと立てて、やるばかりの準備は整えていたにもかかわらず、できなかったということに関しては、それはやむを得ないことなので、マイナス評価をする必要は、私は全くないと思っております。どうでしょうか。

○事務局 ありがとうございます。庁内の会議でも、コロナウイルスに関してマイナス評価されるというのはどうなのだという話がありまして、一応、資料1の進行管理結果の表紙から1枚めくっていただくと、進行管理票の見方というものがありまして、1ページの前のところですね。右下ら辺に、31年度の実施状況で網かけがかかっています、その網かけがかかっているところから線で戻っていただくと、四角があって、一番下に米印で、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかったことで評価が変わったものについてはセルを網かけにしています」と記載をしていて、コロナウイルスの影響でできなかった結果、評価が下がっているということを示すようにはしています。

しかし、実際の評価方法としては、変わっていないので、後期の実施計画の際には検討する必要はあるかなと思います。

○委員 あともう一つ、年々よくなってきているという理解ですけれども、後期の面でも、去年、今年と評価は「◎」というところありますよね。それに対して、それよりもっと前は「△」がついていたけれどもという部分がありますね。そういう部分については、要は進歩しているというか、一生懸命進んできているよということで、前の年より悪くなって年々しぼんでいくほうについては、非常に問題視しなきゃいけないけれども、よくなっていくほうに関しては、もっと、土壌が全く同じような点数評価ですよ、これって、3点とか2点とか1点というのは。けれども、近年においてよくなってきていけば、それを評価として、もうちょっと上げてあげたい気持ちがあるのですけれども、その点いかがですか。

○会長 本当にいい御意見ありがとうございました。なかなかそれをどうするかというのはまた考えなきゃいけないことかもしれませんけれども、これは昨年までの評価ですよ、4年間の。最終的には5年間しなきゃいけないので、今年は、よりコロナの影響が出てくると思いますよね、いろいろな事業に。ということは、昨年も台風の影響でできなかったというような、想定しなかったようなことがたくさん出てくるだろうと思いますから、その評価をやはり少し考えなきゃいけないということはあると思いますよね。

それと、おっしゃいましたように、右肩上がりだったらそれをどうするかというような、それについても、何かいい考えが皆さん方の中にあいましたら教えていただきたいですし、また事務局のほうでも少し考えていただきたいなと思います。いかがでございましょうか。

○事務局 ●●委員がおっしゃるとおりに、今考えております。ちょうど私たち事務局でも、ものによっては、段階的に上がってきて一つ達成したということであれば、その時点で二重丸がつくというような考え方、それは事業の性質や中身によって評価の考え方に取り入れていかなきゃいけないというふうに現時点で思っています。

今回のこの4年間の総括は、毎年やっている進行管理シートにおける「◎」、「○」、「△」、

そういったようなものを足し上げて平均化させるような形で、施策の取組ということで評価を下しているところから、●●委員が御指摘になっているようなところまでうまく評価に行き着いていないというのが弱点になっておりますので、後期の実施計画の際の評価については、今御指摘のあった点を踏まえて評価方法を充実させていきたいと考えています。

○会長 ありがとうございます。それから、いい御意見ありがとうございます。評価も進化していくというようなことでございました。

ほかにいかがでございますか。

どうぞお願いします。

○委員 ちょっと確認をさせていただきたいのですけれども、男女共同参画推進委員会というか、そのほうで計画したものを例えば保育に関するものだったら子育て支援課にやっていただくというような形になっているのですかね。その実際の計画の評価に関しても、実施にやってもらった課からの自己評価ということになっているのですかね。

○事務局 そうですね。おっしゃるとおりでして、それぞれの事業は担当課が決まっていますので、担当課で実施していただいて、評価に関しても、基本的には自己評価をしていただいて、ちょっとおかしい思ったところはヒアリングしたりしています。

○委員 自己評価だと、今後のことですね、今までのことは問題ないのですけれども、やっぱり自己評価だとどうしても、やったからいいやとって「○」となってしまう可能性も出てきますので、活動を受けた市民の方が、どう向上したかとか、どういうよさがあったかということ、評価に取り入れるような方向に今後は少しでもしていったほうがいいかなと思いました。

例えば、男性の食事作りの講座が、参加人数が減ったから「△」とかになっていたのですけれども、そういうふうに捉えなくてもいいのではないかなと思っていて。1人でも2人でも、ああ、面白かった、本当に役に立ったという人が出た質のよいそういう取組ができたのであれば、それは評価につながるかなと。どんなに人数を集めても、多くの人がつまらなかったなと思えば、あまり評価に当たらないのかなというふうに思ったりするので、その評価の仕方を今後考えていくのがいいのかなと思いました。

○事務局 ありがとうございます。現在の前期実施計画の評価方法に関しては、以前から、前回の任期の期間の委員さんたちからも御指摘を受けておまして、非常に評価方法がよろしくない、このシート自体がよろしくないということで、かなりお叱りを受けています。

ここに関しては、後期に向けて評価シートも、もう少し客観的、要は自己評価ではない部分であったりとか、見える化されたものであったりとか、あと常々言われている男女共同参画の視点から事業を評価していないシートだと御指摘を受けてしまっているのです、その改善は検討しております。

何かよい評価方法とかで、シートの作成方法とか、もし逆にあつたら、ぜひ教えていただきたいなという部分もありますので、今後、後期の実施計画策定のための会議の際に、評価シートに関しても、皆さんの御意見を伺って新しい評価シートを作っていければと思っています。そちら

はぜひ御協力よろしくお願ひしたいと思っています。

○事務局 併せてなのですが、評価については、一般的に何回やった、何日だというような実績に基づく評価と、実際にその事業を実施して、本来の目的を達成してどのような成果があったかという、成果の指標というものがございませう。

今回の前期の実施計画については、こちらの進行管理票の中にありますとおり、実績指標ということで来ているものですから、成果というものが、もともとこのシートの中の記載の枠組みでいくと、非常に見えない形になっております。

成果ということになるべく多く、出たか出なかったということをつかんでいくということが大切だと思っているのですけれども、実際にこの成果指標のデータをその担当課が取り得るかどうかということも、一つの成果指標を取る難しさにもなってきますので、成果指標というものを十分に意識しながら、実際にその指標の数値が事業を通じて把握できるのかという、その兼ね合いも含めて、今後、指標設定というものを事業ごとの考えていくようにしたいと思います。

○会長 ありがとうございます。では、委員の皆様方も、いい評価の方法があるというようなデータ、資料がございましたら、ぜひ事務局のほうにお願いいたします。

もともと評価をするようになったというのは、そんなに長い歴史があるわけではございませぬので、以前は、ただ計画をしてやりましたという、それぐらいで終わっていたのですよね。ですから、千葉県で評価をするようになったのは、これは日本の中でも先駆的な県だと思っております。

ただ、そうはいっても、評価をするのだったら客観的に、量だけじゃなくて、その質も見えていかなきゃというのは当たり前のことなのですけれども、まだ、やっとな今評価の方法をどうするのかということが検討される段階に来たということでございませぬので、皆様方、ぜひ事務局に御協力のほどよろしくお願ひいたします。

### (3) 白井市男女平等推進行動計画 後期実施計画について

ということで、次は、3番目の議題でございませぬ。白井市男女平等推進行動計画後期実施計画についてということでございませぬ。これからがいよいよこの会議の本番といひませぬか、私たちの仕事ということになりますので、その前に事務局のほうから御説明をよろしくお願ひいたします。

○事務局 (事務局説明)

○会長 ありがとうございます。これは、これから私たちがどういうことをやっていくのかという作業と、それから庁内での取組ということで、私たちは、出てきたものをこれでいいのかどうかという検討なのですけれども、その前に、こういうふうな4年間の評価をしていただきましたので、この中から見えてくることで御意見がおありでしたら、ぜひおっしゃっていただいて、次の後期の計画に生かしていただきたいなというふうな思っているところでございませぬ。

いかがでございませぬか、皆様方、御意見等々ございましたら、ぜひお願ひいたします。

どうぞお願ひいたします。

○委員 ●●です。とてもいいなという思う事業がありまして、私は、コミュニティセンターでやられていた、工業団地とかいろいろな事業者さんが、子供たちに向けてやる職業フェスのような何か、名前がはっきり分からないのですけれども、あれは毎年やられているのでしょうか。毎年ですか。そこに出ていた子供さんの若いお母さんとお話する機会があったのですけれども、すごく楽しくいろいろなことを体験できてよかったなというお話があったので、ぜひ続けていただきたいなと思います。

○会長 いい御意見ありがとうございます。

○事務局 ありがとうございます。コミュニティセンターや、ほかの出先機関等についても、様々なよい事業をやっているのですが、現在、指定管理者になっている関係で、事業の評価というのが、生涯学習課を経由して上がってくるか来ないかというのがあります。

今の計画では、その部分が含まれていなくて、同じく指定管理者になっている青少年女性センターに関しては、女性センターという機能があるために評価の対象とはなっているのですけれども、そこに関しては生涯学習課と調整をしながら、後期の計画のほうに、各出先の公民館とかコミュニティセンターが行っている事業をもっと評価に上げられないかということに関しては、協議をさせていただきたいなと思っていますので、次の会議までにきっとお答えは出せるのではないかと思います。いい情報をありがとうございます。

○会長 どうもありがとうございます。

ほかに。

どうぞお願いいたします。

○委員 ●●と申します。今の点について付け加えですが、青少年女性センターも、今お話しただいたとおり、公民館等との位置づけになっていまして、そちらのほうは毎年、公民館等講座・学習のまとめという形で、各センターが各講座をまとめているものがございます。

私どもの青少年女性センターは、この男女共同参画の位置づけでもあるのですけれども、非常に今回のこの評価の中で、カジダン、イクダンの一つの事業に対する評価としては、それを実施していないので廃止という形でバツにはなっているのですが、事業自体は逆にもっと膨らんでいて、今18以上の事業を展開しておりまして、女性のためのストレスフリーの講座ですとか、就労困難な方のパソコン講座の実施ですとかという形で、なかなか部署によって評価の見え方というのが、出し方というのがちょっと変わってきているというのが、なかなかセンター側としてはうまく評価に上げることがちょっと難しいなというのが、センター側の立場としてはございます。

なので、逆にセンター側としましても、今後の評価のところ、もうちょっとこういう評価の仕方をしたいというところを上げさせてもらえればなと思っています。

○会長 ありがとうございます。

事務局から、それにつきまして何かありますか。どうでしょうか。

○事務局 委員からお話があったとおり、私どもでも、評価について、各事業課、センター側に問いかけながら、コミュニケーションを十分に取って評価というものを実施していきたいと思

ます。

○会長 ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、大体これで今日の議題は終わりを迎えつつございますけれども、事務局に少し確認させていただいてよろしいでしょうか。

これから実質的に、後期の実施計画を事務局でまとめてくださるという作業になりますよね。それまでに、時間も、いつかでもいいですから決めてくださって、委員から、例えばこの事業はこういうようなことでとか、もう廃止してもいいのではないかとか、あるいは、こういうようなことがあるけれども、この中のどこに入るかとか、新しいこともきっと出てくるかもしれませんよね。そうしたら、それは基本的にはもう変えないで、あと5年間はそのまま事業も行われますよね。その中に、こういうのは取り込んでもいいとかいうような、それぞれの委員の皆さん方の中にもあるかもしれませんので、それと評価がありましたよね、評価の方法をどうするかとか。そういうような意見がございましたら、それをいつまでに事務局のほうに申し出るというようなことを考えてくださったら、とてもありがたいなと思いますけれども、また事務局もそのほうがよろしいかと思うのですけれどもね。いかがでございましょうか。

○事務局 今、会長おっしゃったとおり、次回皆様に会議でお会いする際には、どのような計画の中身かということをもうお示しをすることになりますので、この機会に、委員の皆様が後期実施計画に望んでいること、例えばこういったような観点を取り入れてほしいとか、こういった事業をより強力で押し進めてほしいですとか、そういったようなものをいただきたいと思っております。

少し時間が許すようでしたら、もう少し皆様から、この場でそういったような御意見、ポイントとなるような考え方をお尋ねしたいと思えますし、少し時間が足りないようでしたら、事務局で一定期間時間を設けさせていただいて、皆様からの意見を伺うような形をさせていただきたいと思えます。

そういったことをまとめて、事務局で、委員さんからこういう御指摘を頂いているので、関係各課、こういったような事業を後期に組み込んでいくかということ、十分検討して、各課から事業案を出してほしいということを庁舎内に依頼をかけていきたいと思えます。

○会長 ありがとうございます。というような事務局からの御要望でもございますので、あと25分程度ございますので、もし、限られた時間ではございますけれども、この時間の中で何か御提案がございましたら、どんどん委員の皆様方からの御意見を頂けたらありがたいなというふうに思っておりますが、どうぞございましょうか。

どうぞ。

○委員 全部で140項目もありまして、大変細かいところまで検討されていて、具体的な取組内容も明らかになっているので、今後については、このまま進めていただいてももちろんよろしいかなと思うのですけれども、これ140あるのをよくよく、まじまじと全部はきっちり読み込んでいるのかとか、そこまではいっていないのですけれども、見ると、当然時間をかけて啓発していかなきゃ

ならないという活動と、それから結構、例えば女性のマネジャーの数とか、それから先ほど言った消防団員の数みたいなところというのは、時間をかけて啓発するというよりも、ある程度もう決めてしまって、目標の数に向けて強く動きを取るような種類のものと2種類のことがあるのではないかと考えています。

ですから、前半申し上げた啓発につきましては、なかなか成果も見えにくいし、時間をかけなければならないというものもあると思うのですけれども、冒頭の部長のお話の中で、より実績的にというキーワードを出されたということを見ると、より後半、実践的にやるとすれば、前半の啓発活動を継続しながら、より数で見えるようなことについては、ある程度、強制的にやるとか、例えばマネジャーの率は、強制的に、例えば市役所の中では何パーセント以上にするとか、そう簡単にはいかないとは思いますが、やるとか、あるいは、そういうふうなことで少し数を設定したところ、達成したところについては、もっとスポットライトを当てて評価をするとか、こんな活動をしたから、男女の共同参画、それが必要になるのですよというのを、ほかのやっていないところに比べてスポットライトを当てて、参考になるような情報を与えるとか、そういうことをしていったら、この140項目を少しめり張りをつけるというか、そういうことをするとよろしいのではないかと考えて御提案をさせていただきます。

○会長 どうぞ。

○委員 私も、●●委員の御提案を聞いていて、まさにそのとおりだなと思うところですね。やっぱり思い切って、単にいつもこういう啓発活動だけではなくて、このことを重点的に一つやってみたら、それがこういうふうになったという具体的なものがあると思うのですよ。それを思い切ってやってみるというのも一つの手だと思います。1番から140番のやつ全てうまくいくということではなくて、一つでもいいから何かやってみるという目玉があればね。

例えば、さっき●●委員が女性消防団員のお話をされましたけれども、私が把握しているところでは、隣の鎌ヶ谷市においては、消防団女性部という組織があるのですね。白井市はそういう組織がない。既存の消防団員の中に、もう男でも女でもいいのではないかと、とにかく女子の比率を増やしたらどうかといっても、なかなかあの中に女性が入っていくというのも、非常にバリアが、私自身、消防団を経験していますから、それも理解できる場所なのです。

ところが、隣の鎌ヶ谷市では、一つの団地に居住している女性の皆様に消防団組織をつくって見たらどうですかということで、自治消防組織ができているという話は聞いたことがあります。

つまり、●●委員がおっしゃったような一つのいろいろな具体的な取組というか、こういうことをやってみたらこういう結果が得られたというのは、やはり1番から140番までではなくて、その中の一つ、これに対してこれをやってみようという思い切った取組が、具体的に一つ、二つあり、それが結果として目に見えてきたら、それが一つのスタートラインについて、次の項目、次の項目となっていくのではないかなと共感したところです。以上です。

○会長 どうもありがとうございました。

事務局、お願いいたします。

○事務局 今、両委員からお話があったことへの理解、受け止め方なのではございますけれども、140項目あって、それぞれ一つずつできるところから始めていくこともいいけれども、メリハリというのは、いわゆる幾つかは強力に押し進めるというものをどこか設けて、そこをある意味、突破口だったり、あるいは、そこを突破することによって、また次から次へと枝のように押し進めていく活動を見出していくというような意味合いで、メリハリをつけるというようなことを御提案くださったのかどうか、ちょっと理解が間違っていたら、もう一度お願いしたいと思います。

○委員 ●●委員は分かりませんが、私個人は、1番から140番まで、今までどおり同じようなことをやって、呼びかけて、やりましょうよ、やりましょうよ、やりましょうよと言っても、なかなか状況が変化していかないというのは事実だと思うのですね。

だったら、1番から140番までの取組を大切にしながら、一つの、今年を思い切ってやってみようということで、行政側のほうから何か一つの思い切ったチャレンジというか、そういうものを投げかけてみるということのもいいのではないかなと思っているのですね。私は単純にそう理解しました。

○委員 ありがとうございます。今の●●さんがおっしゃったようなことなのではございますけれども、140項目を決めた以上は、140項目をやらないことはできないと思うのですよね。130ぐらいをやめて、131番をやりましょうということはいかないと思うのです。これは絶対やらなければならない、約束したことだから。

ただ、その140項目やった中で、非常にいい成果が出たことがあったら、それをもっとスポットライトを当てて、やっていない人とか知らない人に示してあげることによって、その人たちが、こういういいことがあるのだなと気づかせる、そこがメリハリだと思う。やることよりも、それをどうやって残すか、伝えるかということをもっと工夫すると、結構、同じやった行動がよく見えるという言い方は変ではございますけれども、分かりやすくなるのではないかなという、そういうことですね。

そのためには、さっき●●さんが言ったみたいに、このことについては重点的にスポットライトを当てて、より成果が出たから、みんなに知らせようよみたいなことはあってもよろしいかなというふうに思います。

○事務局 分かりました。ありがとうございます。

○会長 なかなかいい御意見ですね。

ほかにいかがでございましょうかね。

そうしましたら、そういうような事業はどういうものかということも私たちも提案できるだろうと思いますので、皆様方、お考えくださいませ。まだ少し時間がございますよね。

もちろん今日だけじゃなくて、そうすると、今お二方からおっしゃっていただきましたようなことで、我々が考えられることを事務局のほうにお示ししたいというような場合の時間的な区切りを教えていただくといいのですけれどもね。

○事務局 貴重な御意見ありがとうございます。

今日終わりました、2週間程度、時間を事務局で取らせていただけたらと思います。今、両委員からの御指摘にあった部分のさらに追加でも構いませんし、全く別の視点から、こういったような項目については、白井市の発展のために推し進めてほしいとか、あるいは、こういう切り口、あるいは、こういったような分野、何でも結構ですので御意見を頂きまして、それを事務局で、皆様の意見、重なる部分と重ならない部分を整理しながら、各課に今後事業を検討するよう照会をかける際に、そのことを十分に伝えた上で、その視点から事業を盛り込んでいくことができれば、後期実施計画もより前期以上に充実すると思いますので、2週間という期間でそれをお願いするというのは、期間的に厳しいでしょうか。

○会長 いや、長くても一緒だと思います。

○事務局 では、皆さんが御異論なければ、2週間で、事務局に送りやすいメールでもファクスでも頂けたらと思います。電話の場合ですと、なかなかその趣旨が理解しづらい部分もありますので、できましたら何か書き起こしていただく形で、メールかファクスあるいは役所窓口にお出向きいただいて、直接頂けたらありがたいと思います。

また、受け取らせていただいて、その委員さんの考えている趣旨を事務局で間違いなく理解させていただくために、少しこの点について、どのような御意見でしょうかとか、こういう御理解でよろしいでしょうかということを確認させていただいて、大切な皆様の意見を承りたいと思います。

○会長 では、皆様方、それで合意したということでよろしゅうございますね。

では、どうもありがとうございました。あと2週間、はっきり何日とはおっしゃいませんでしたけれども、9月の何日ですかね、3日か4日ぐらいでございますかね。

○事務局 9月3日の夕方までに、市民活動支援課事務局まで御意見を頂戴できたらと思います。

併せて、評価については、計画の中身を考えていく期間の間で、事務局でも考えていくのですが、この時点で、先ほど御意見を頂いた以上に何か御提案としてある場合には、そのこともぜひ提供いただけたらと思います。

評価を実施していく際には、実際に各課に事業を出していただくときのシートに記入していただく内容も、その時点から変わってまいりますので、もし御提案がある方は、もうこの機会に評価も併せて出していただけたらと思います。よろしくをお願いします。

○会長 ということでございますので、よろしくお願ひいたします。

それから、私、見方が悪かったもしれませんが、数値目標が出ている事業というのは、どこか一覧表で見るとはできませんでしょうかね。

資料の1ですかね。

○事務局 資料1の最後のページです。

○会長 最後のところですね。分かりました。じゃあ、皆様方、これも参考にいたしましょう。ありがとうございました。

ということで、今日の審議事項は全て終了いたしました。皆様方の御協力で少し早めではござ

いますが、もうよろしゅうございましょうか。

どうぞ、事務局のほうから。

○事務局 （事務局連絡事項）

○会長 ということで、事務局からもよろしゅうございましょうか。

では皆様、第1回の会議でございましたけれども、本当にいろいろと御意見頂きましてありがとうございました。そして、次の2週間をお忘れなく、御意見をぜひぜひお送りくださいませ。

ということで、本日は終了とさせていただきます。御協力どうもありがとうございました。